もっと知りたい!!

西馬音内盆踊り

踊りについて

にぎやかで、勇ましく野性的な囃子に対し、優雅で流れるような上方風の美しい踊りの対照が西馬音内盆踊りの特長です。

踊りには、音頭とがんけがあり、がんけは、月夜を飛ぶ雁の姿を踊りから連想した「雁形」、仏教伝来の「勧化」、現世の悲運を悼み、来世の幸運を願う「願生化生の踊り」がつまって「願化踊り」と呼ばれたとの諸説があります。がんけの歌詞、節回しには哀調が漂い、本来、娯楽の踊りでなかったことを物語るのではないでしょうか。

囃子について

西馬音内盆踊りのお囃子には「よせ太鼓」「音頭」「とり音頭」「がんけ」の四種類があります。

楽器の編成は、笛、大太鼓、小太鼓、三味線、鼓、鉦などで、演奏者（囃子方）は大小の太鼓、鼓、鉦は各一人ずつ、笛、三味線は複数で奏されます。鳴物6種の他、地口または甚句の唄い手が加わり、世間世事を風刺したもの・野趣抒情溢れるもの・楽天的な中にも農民特有の素朴なエロティシズムを匂わせたもの等、多彩な歌詩で踊りを盛り上げます。

囃子方は、会場のほぼ中央の踊りの輪の外にかけられた特設櫓で、左右の柱には「五穀豊穣」「豊年万作」と書いた角の長灯篭、腰には幔幕を張って、ひなびた中にも華やかな情緒をただよわせ、夜半まで奏されます。

端縫い衣裳

西馬音内盆踊り特有の美しい踊り衣裳で、女性の踊り手が多く用いるのが「端縫い衣裳」です。（この場合、頭巾よりも編み笠を用います。）

端縫い衣裳は四種も五種もの絹布を端縫ったもので、帯もしぶい好みのものが多く、結び方は、御殿女中風な形になります。

多数の見物人の目にふれる踊り衣裳に、婦人たちが強い関心をよせ、図柄と配色に工夫・苦心した様子が偲ばれます。小布や半端な布でも捨てず、思い思いの衣裳を作りあげていったことでしょう。

また、祖母から母へ、そしてその子へと受け継がれてゆく衣装は、それを身につけることにより、故郷に生きた女たちの思いも同時に身にまとって踊るという意味があります。

ACCESS

電車をご利用の場合

東京 ―（山形新幹線 3時間40分）― 新庄 ―（奥羽本線 50分～1時間）―
東京 ―（秋田新幹線 3時間25分）― 大曲 ―（奥羽本線 40分）―
湯沢駅 ―（バスで30分 車で15分）― 羽後町

飛行機をご利用の場合

東京 ―（1時間5分）―
大阪 ―（1時間25分）―
秋田空港 ―（リムジンバス 約40分）― 秋田駅 ―（奥羽本線 1時間20分～40分）― 湯沢駅 ―（バス 30分）― 羽後町
秋田空港 ―（車・エアポートライナー（予約制） 約1時間30分）― 羽後町

お車をご利用の場合

東京 ―（東北自動車道 約6時間）― 北上J.C.T ―（秋田自動車道 約45分）― 湯沢I.C ―（国道398号 約10分）― 羽後町

高速バスをご利用の場合

仙台 ―（グリーンライナー号（予約制） 約3時間30分）― 羽後交通湯沢営業所 ―（バスで30分 車で15分）― 羽後町

秋田県羽後町企画商工課
〒012-1131 秋田県雄勝郡羽後町西馬音内字中野177
TEL. 0183-62-2111　FAX. 0183-62-2120

秋田県羽後町観光物産協会
〒012-1131 秋田県雄勝郡羽後町西馬音内字中野200
TEL. 0183-55-8635　FAX. 0183-55-8636

受けつがれる踊りと伝統芸能

伝承

西馬音内盆踊り

Nishimonai Bonodori

流麗で優雅な踊りは妖しいまでの雰囲気を醸し出し、深い歴史と文化を感じさせます。豊年踊りとして始まったという説と、落城した城主の慰霊の踊りが、豊年踊りと一緒になって伝えられたという説があります。

彦三頭巾（ひこさ）

踊り衣装の一つである黒い覆面「彦三頭巾」は見る者に幻想的な印象を与えます。

秋田県由利地方の「はなふくべ」、山形県庄内地方の「はんこたんな」との関連や、歌舞伎の黒子からヒントを得たなど諸説あり、明確な由来は分かっていませんが、いずれにしても亡者踊りともいわれる雰囲気を醸し出しています。

野中人形芝居

大阪文楽の流れをくむ古い伝統を誇る郷土芸能で、三番叟、岩見重太郎ヒヒ退治などの格調の高いものがあり、独特の語り口で子供から大人まで親しまれています。

県指定無形文化財（昭和 49 年）

仙道番楽

四百年ほど前、鳥海山に籠もった山伏行者の神楽舞が始まりという説などがあり、町内各神社の祭典、豊年祭り、慰霊祭などで演じられるもので、演目は表六番、裏六番からなり、獅子舞、鶏舞、武士舞などのほか、牛若弁慶、安珍清姫などがあります。

県指定無形文化財（昭和 39 年）

元城獅子舞（もとき）

元城獅子舞は、8月14日、元城神明社に奉納されたあと、家内安全、悪病退散、豊作を祈願して元西堀回地区の家々を回る行事です。演目には、神前の舞、獅子舞、信夫太夫、鳥舞があります。

町指定無形文化財（平成 14 年）

時をこえてかたりかける 歴史

❶三輪・須賀神社

三輪神社の形式技法は室町時代に属するものと考えられ、隣接する須賀神社本殿は、桃山時代の形式を表し、濃厚な地方色をもつ特色ある建物となっています。三輪・須賀神社共に国の重要文化財。

❷旧長谷山邸

明治15年に建築された、旧田代村の地主長谷山家の邸宅。平成11年に整備改修され町の交流促進施設として一般に公開されています。

■開館期間／4月～11月（冬期閉館）
■観　覧　日／土・日曜日
（午前９時～午後５時）
■観　覧　料／無料
☎(0183)62-2111（企画商工課）

❸鈴木家住宅

鈴木家は源義経の郎党、鈴木三郎重家を祖として、800年以上の歴史を有しています。茅葺屋根の主屋は江戸時代前半（1650～1700年）の建物として昭和48年に重要文化財に指定されました。主屋の背後に接続する土蔵は大正4年（1915年）の上棟で、平成6年に重要文化財の指定を受けました。

■観　覧　料／500円
見学を希望される方は必ず事前にご連絡ください。
☎(0183)68-2913

❹歴史民俗資料館　観覧無料になりました

町内の遺跡や文化財、民俗や自然に関する資料を収集展示し、近代的な設備と充実した内容が自慢の資料館。
歴史と文化の町にふさわしい施設です。

■開館時間／午前9時～午後4時30分
■休　館　日／毎週月曜日（祝日の場合は翌日）
・年末年始
※祝日が連休になる場合は連休最終日の翌日
■観　覧　料

	個 人	団 体
小・中学生	50円	40円
高校・大学生	100円	80円
一般	200円	160円

※団体は15名以上です

伝統芸能伝承施設（町立図書館併設）

❺西馬音内盆踊り会館

館内には盆踊りの様子を人形で表現したものや、古い踊り衣装・キルト・藍染めの大型壁掛け・押絵など、多数の手作り作品を展示。
交流ホールは、普段踊りの練習などに使われるが、200インチの大型スクリーンで盆踊りの映像も鑑賞できる。

■開館時間／午前9時～午後5時
■休　館　日／毎週月曜日（祝日の場合は翌日）
・年末年始
■入　館　料／無料
※ただし、場所を占有して使用する場合は有料。
☎(0183)78-4187

盆踊り展示ホール

	午 前	午 後	夜 間
	午前9時～正午	正午～午後5時	午後5時～10時
盆踊り体験・交流ホール	4,000円	7,000円	10,000円
盆踊り創造活動室	600円	1,000円	1,500円
盆踊り伝承室	2,000円	3,000円	4,000円

爽やかな風と緑とあふれる自然

憩

（ゴルフクラブの貸出もしています。）
隣接して温泉があります。

⑥五輪坂ゴルフ練習場

早朝から午後九時まで、ゴルフ愛好者だけではなく、初心者の方でも楽しめます。ナイター設備と、300ヤードの見晴しのよい広大なグリーンが特徴です。

■利用料金／ 500 円（100 球）
☎(0183)62-2788

⑦五輪坂アルカディア公園

温泉保養施設と自然に囲まれたビッグできれいな公園。
春はピクニック、夏は花火大会、秋はいもの子汁や焼肉、年間を通じ魚釣り（へらぶな）が楽しめます。

■遊具・炊事場・トイレ
■大型テント・管理棟完備
■駐車場／大型8台、普通90台
身障用5台
☎(0183)62-2111（建設課）

⑧五輪坂スポーツガーデン

健康増進、交流の場としてご利用いただけます。クラブとボールの用具貸出もありますので初めての方もプレーできます。
グラウンドゴルフ（5コース）
ターゲットバードゴルフ
■営業時間／午前9時～午後5時
■定　休　日／毎週月曜日
■利用料金／一般　200円・中学生以下　100円
☎(0183)62-0180

⑨五輪坂温泉「としとらんど」

県南一帯が一望できる小高い丘の上にある温泉施設です。源泉はアルカリ性で皮膚病や動脈硬化症に効果があり、暖まる温泉と評判です。宿泊もできる特別温泉ルームには専用風呂も付いています。レストランでは地元産羽後牛を味わえます。

■営業時間／ 10：00～21：00
■入　浴　料／400円（小学生200円、幼児無料）
■駐　車　場／大型7台、普通116台
☎(0183)62-4126

【料金変更】
大人５００円
（午後５時以降４００円）

町内の宿泊施設のご案内

としとらんど　0183−62−4126

□料金／特別温泉ルーム／10, 800円（税込）～
宴会個室／8, 640円（税込）～
（西馬音内盆踊り期間中は別料金となります。）
□宿泊可能数／特別温泉ルーム4名×2室
宴会個室50名

ログハウス・コテージ　0183−62−4126（としとらんど）

□料金／1棟　12, 000円（食事なし）
（西馬音内盆踊り期間中は別料金となります。）予約は、本館「としとらんど」へ
□宿泊可能数／8名（寝具4組付）×3棟

別館　みはらし荘　0183−62−4126（としとらんど）

□料金／8, 640円（税込）～
（西馬音内盆踊り期間中は別料金となります。）予約は、本館「としとらんど」へ
□宿泊可能数／30名

川原田館　0183−62−2131

□料金／6, 500円（税込）～（西馬音内盆踊り期間中は別料金となります。）
□宿泊可能数／20名～45名

かやぶき山荘　格山　0183−62−5009（ミケーネ）

□料金／1棟　13, 000円（税込）（食事別）
（西馬音内盆踊り期間中は別料金となります。）予約は、書店「ミケーネ」へ
□宿泊可能数／5名（西馬音内盆踊り期間中は別）

農家民宿りら　0183−62−4216

□料金／4, 000円（税込）（食事別）　□宿泊可能数／5名

農家民宿 阿専　0183−67−2202／080−5843−8099

□料金／5, 000円（税込）（食事別）　□宿泊可能数／5名

風土と伝統が生んだ 行事と食文化

うご牛まつり

県内でも有数の飼育頭数を誇る牛をメインにしたイベント。みどり豊かなとしとらんど特設会場で食べる特産の「牛肉」は野外焼肉大パーティーの雰囲気とマッチして、豪快な味を作り出しています。

9月第1日曜日

羽後牛

秋田県随一の食用牛産地から送り出す羽後牛は、黒毛和牛ならではの優れた肉質が売り物です。

スイカ

羽後町の風土と、純朴な人たちによって生産されたスイカは、寒暖の差が大きい内陸丘陵地域特有の甘さに溢れています。

西馬音内そば

大阪で修業を積んだ職人が文政元(1818)年、西馬音内に店を開いたのが始まりとされ、冬でも冷たいつゆで食べるかけそば「冷やがけ」が定番。

つなぎにフノリを使い、こしが強いのが特徴。

そばまんじゅう

名物「西馬馬音内そば」をイメージしたおまんじゅう。

塩味の効いた皮とあんこの甘さが絶妙な美味しさを生み出します。

西馬音内の朝市

約300年の伝統をもち、地域の台所として、また交流の場として親しまれています。毎月二・五・八のつく日に開かれ、新鮮な野菜、果物、海産物をはじめ、衣料、日用品などを商う数多くの出店でにぎわいます。

羽後歳時記

◎ゆきとぴあ七曲　1月最終土曜日
◎藍と端縫いまつり　8月第1土曜日・日曜日
◎西馬音内盆踊り(国重要無形民俗文化財)　8月16～18日
◎うご牛まつり　9月第1日曜日
◎御嶽神社祭典　9月第3日曜日

冬の羽後路にロマンを奏でる

⑩ ゆきとぴあ七曲(七曲峠)

雪国ならではのイベント。メインは、その年選ばれた新婚のカップルが、馬そりに揺られ峠を越える花嫁道中。ろうそくの灯りに照らされた雪の回廊を行く情景は、何ともいえずファンタスティックです。

1月最終土曜日

藍と端縫いまつり

西馬音内盆踊りとその踊り衣装にちなんだ歴史と文化、そして藍と端縫いの魅力を発見してもらうためのイベントです。

踊り衣装を持つ家々が一斉に藍染めと端縫いの衣装を展示し、町が一つの美術館のようになります。

8月第1土曜日・日曜日

Guide Map
center of NiShiMoNai

西馬音内中心部　案内図

真のそば処、西馬音内そばの
真髄に出会える羽後町で、
そば三昧をお楽しみください。

町内のこだわりそば屋各店（2018年現在）

弥助そばや
羽後町西馬音内字本町90
☎0183－62－0669

小太郎そばや
羽後町西馬音内字裏町31
☎0183－62－0766

柏木　閉店
羽後町西馬音内字裏町77
☎0183－62－0643

松屋
羽後町西馬音内字中野11－4
☎0183－62－0628

長谷山
羽後町西馬音内字川原田76－6
☎0183－62－1227

彦三
羽後町西馬音内字中町51
☎0183－62－1520

信太そばや
羽後町貝沢字雀田29－7
☎0183－62－3311

みはらし荘（要確認）
（五輪坂温泉としとらんど）
羽後町田代字七曲4
☎0183－62－4126

かやぶき山荘 格山（要確認）
羽後町田代字梻61
☎090－7063－7341

道の駅うご 端縫いの郷
羽後町西馬音内字中野200
☎0183－56－6128

⑪ 道の駅 うご

端縫いの郷
Hanui no sato

町内の中心地である町役場に隣接する道の駅で、道路情報や観光情報の提供ほか、セルフ方式のダイニング、オリジナル焙煎の本格珈琲が味わえるCafe、新鮮な地元産生乳を使った各種ジェラートが味わえるジェラートショップがあります。

〒012-1131 秋田県雄勝郡羽後町西馬音内字中野200
TEL：0183-56-6128　FAX：0183-56-6138

農産物直売所「端縫の里」

朝採り・今採り野菜や果物、お米はもちろん、地元で受け継いできた秘伝レシピのお惣菜や田舎菓子まで。118組の生産者さんがこしらえた地域限定の良品が並ぶ直売。
9：00～18：00（11～3月は17：00）
休館日／1月1日

経世学者 佐藤 信淵

佐藤信淵（のぶひろ）は、明和6年（1769）羽後町（西馬音内とも郡山ともいわれる）に生まれました。

佐藤家は、代々学問を重ね、これを家学と称していたが、その内容は、農業、漁業、鉱業、工業など広範囲なもので、いわば産業学と呼べるものでありました。

信淵は、全国を遊歴し、また宇田川玄随、井上潜、木村泰蔵、平田篤胤などに学び、佐藤家の家学を大成し、多くの著書を残したといわれます。

この信淵の学問は、農政、経済、海防、地理、天文など多くの分野にわたっています。

ジェラートショップ うご・じぇら